



平成24年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
(コード番号 9878 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 弓削 英昭
TEL. 03-6279-0562

(訂正・数値データ訂正あり) 「平成24年 2 月期 決算短信 (非連結) 」の一部訂正について

平成24年 4 月 6 日に発表いたしました「平成24年 2 月期 決算短信〔日本基準〕 (非連結) 」の一部に訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所は____を付して表示しております。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

【訂正箇所】

サマリー情報

(訂正前)

1. 平成24年2月期の業績 (平成23年2月21日～平成24年2月20日)

(1) 経営成績

(省略)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年2月期	9,336	4,867	52.1	343.31
23年2月期	10,770	5,582	51.8	393.71

(参考) 自己資本 24年2月期 4,687百万円 23年2月期 5,582百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年2月期	<u>40</u>	<u>△86</u>	△291	1,062
23年2月期	△805	△195	591	1,399

(以下省略)

(訂正後)

1. 平成24年2月期の業績（平成23年2月21日～平成24年2月20日）

(1) 経営成績

(省略)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年2月期	9,336	4,867	52.1	343.31
23年2月期	10,770	5,582	51.8	393.71

(参考) 自己資本 24年2月期 4,867百万円 23年2月期 5,582百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年2月期	<u>49</u>	<u>△94</u>	△291	1,062
23年2月期	△805	△195	591	1,399

(以下省略)

2～4 ページ

(訂正前)

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(省略)

セグメント別には次のとおりであります。

[家電部門]

家電部門（フランチャイズ売上高を含む。）においては、前年からのエコポイントとアナログ放送停波による特需の反動で8月以降薄型テレビの売上が急激に落ち込んだこと、冷夏の影響で季節商品の売上が振るわなかったことなどにより、売上高は6,586百万円（前事業年度比30.6%減）、経常損失は385百万円となりました。

[ファッション部門]

ファッション事業においては、GINZA LoveLove他1店舗の新規出店を行い売上高の拡大に努めましたが、前事業年度末の閉店1店舗、当事業年度の閉店および震災やショッピングセンター内での売場の移設に伴う長期間の休業等も影響し、年間では若干の減収となりました。最需要期のクリスマス商戦以降、高額のブランド品に加えオリジナルブランドの中・低価格品も好調に推移し利益率の確保に貢献した結果、売上高は11,646百万円（前事業年度比4.0%減）、経常利益は60百万円となりました。

[その他]

その他の部門では、売上高は193百万円（前事業年度比0.2%増）、経常損失は79百万円となりました。

(省略)

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

(省略)

② キャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ337百万円減少し、1,062百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動の結果増加した資金は40百万円（前事業年度は805百万円の減少）となりました。これは主に、減価償却費192百万円、減損損失52百万円、資産除去会計基準適用の影響額54百万円、店舗閉鎖損失引当金繰入額117百万円など非資金性の特別損失の計上により税引前当期純損失を666百万円計上しましたが、在庫圧縮によりたな卸資産を577百万円圧縮できたこと、一方、前事業年度末日が金融機関の休業日であったため期末日の債権債務の精算が翌営業日にずれ込んだため仕入債務が542百万円、未払金が168百万円減少したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は86百万円（前事業年度は195百万円の使用）となりました。これは主に、出店及びシステム入替による有形固定資産の取得115百万円、無形固定資産の取得20百万円、差入保証金の差入77百万円等の支出があったものの、店舗閉鎖等により差入保証金123百万円の回収があったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動の結果減少した資金は、291百万円（前事業年度は591百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純減777百万円、長期借入金の返済202百万円、社債の償還40百万円があったものの、新規出店や震災復旧に伴う設備投資資金および事業用運転資金の長期借入れによる調達を750百万円行なったことなどによるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成20年2月期	平成21年2月期	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期
自己資本比率（％）	45.5	50.2	53.4	51.8	52.1
時価ベースの自己資本比率（％）	10.7	9.0	14.2	12.9	12.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	2.6	1,411.6	2.7	—	<u>69.7</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	15.7	0.0	22.9	—	<u>0.7</u>

自己資本比率：（純資産合計－新株予約権）／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※ 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

なお、平成23年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(訂正後)

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(省略)

セグメント別には次のとおりであります。

[家電部門]

家電部門（フランチャイズ売上高を含む。）においては、前年からのエコポイントとアナログ放送停波による特需の反動で8月以降薄型テレビの売上が急激に落ち込んだこと、冷夏の影響で季節商品の売上が振るわなかったことなどにより、売上高は6,586百万円（前事業年度比30.6%減）、セグメント損失は386百万円となりました。

[ファッション部門]

ファッション事業においては、GINZA LoveLove他1店舗の新規出店を行い売上高の拡大に努めましたが、前事業年度末の閉店1店舗、当事業年度の閉店および震災やショッピングセンター内での売場の移設に伴う長期間の休業等も影響し、年間では若干の減収となりました。最需要期のクリスマス商戦以降、高額のブランド品に加えオリジナルブランドの中・低価格品も好調に推移し利益率の確保に貢献した結果、売上高は11,646百万円（前事業年度比4.0%減）、セグメント利益は55百万円となりました。

[その他]

その他の部門では、売上高は193百万円（前事業年度比0.2%増）、セグメント利益は79百万円となりました。

(省略)

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

(省略)

② キャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ337百万円減少し、1,062百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果増加した資金は49百万円（前事業年度は805百万円の減少）となりました。これは主に、減価償却費192百万円、減損損失52百万円、資産除去会計基準適用の影響額54百万円、店舗閉鎖損失引当金繰入額117百万円など非資金性の特別損失の計上により税引前当期純損失を666百万円計上しましたが、在庫圧縮によりたな卸資産を577百万円圧縮できたこと、営業保証金の返還による受入357百万円があったこと、一方、前事業年度末日が金融機関の休業日であったため期末日の債権債務の精算が翌営業日にずれ込んだため仕入債務が542百万円、未払金が168百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は94百万円（前事業年度は195百万円の使用）となりました。これは主に、出店及びシステム入替による有形固定資産の取得115百万円、無形固定資産の取得20百万円、差入保証金の差入77百万円等の支出があったものの、店舗閉鎖等により差入保証金123百万円の回収があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果減少した資金は、291百万円（前事業年度は591百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純減777百万円、長期借入金の返済202百万円、社債の償還40百万円があったものの、新規出店や震災復旧に伴う設備投資資金および事業用運転資金の長期借入れによる調達を750百万円行なったことなどによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成20年2月期	平成21年2月期	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期
自己資本比率 (%)	45.5	50.2	53.4	51.8	52.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	10.7	9.0	14.2	12.9	12.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.6	1,411.6	2.7	—	<u>58.3</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	15.7	0.0	22.9	—	<u>0.8</u>

自己資本比率：(純資産合計－新株予約権)／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※ 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

なお、平成23年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

9～17ページ

(訂正前)

4. 財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年2月20日)	当事業年度 (平成24年2月20日)
資産の部		
(省略)		
負債の部		
流動負債		
(省略)		
固定負債		
(省略)		
長期未払金	10,289	71,652
繰延税金負債	10,451	7,833
(省略)		
その他	100,908	<u>115,308</u>
固定負債合計	938,033	1,539,153
負債合計	5,188,366	4,468,950
純資産の部		
(省略)		

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年 2月21日 至 平成23年 2月20日)	当事業年度 (自 平成23年 2月21日 至 平成24年 2月20日)
(省略)		

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年 2月21日 至 平成23年 2月20日)	当事業年度 (自 平成23年 2月21日 至 平成24年 2月20日)
(省略)		

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年 2月21日 至 平成23年 2月20日)	当事業年度 (自 平成23年 2月21日 至 平成24年 2月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△73,396	<u>△67,684</u>
(省略)		
その他	△113,972	<u>456,416</u>
小計	<u>△738,267</u>	<u>124,010</u>
利息及び配当金の受取額	8,421	9,983
(省略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△805,393</u>	<u>40,959</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
その他	△10	<u>—</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△195,584</u>	<u>△86,384</u>
(省略)		

(訂正後)

4. 財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年2月20日)	当事業年度 (平成24年2月20日)
資産の部		
(省略)		
負債の部		
流動負債		
(省略)		
固定負債		
(省略)		
長期未払金	10,289	71,652
長期預り保証金	二	115,308
繰延税金負債	10,451	7,833
(省略)		
その他	100,908	二
固定負債合計	938,033	1,539,153
負債合計	5,188,366	4,468,950

純資産の部

(省略)

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年2月21日 至 平成23年2月20日)	当事業年度 (自 平成23年2月21日 至 平成24年2月20日)
(省略)		

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年2月21日 至 平成23年2月20日)	当事業年度 (自 平成23年2月21日 至 平成24年2月20日)
(省略)		

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成22年 2月21日 至 平成23年 2月20日)	当事業年度 (自 平成23年 2月21日 至 平成24年 2月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△73,396	<u>△80,000</u>
(省略)		
その他	△113,972	<u>119,362</u>
小計	△738,267	<u>△225,358</u>
<u>預り敷金及び保証金の受入による収入</u>	<u>二</u>	<u>357,427</u>
利息及び配当金の受取額	8,421	9,983
(省略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△805,393	<u>49,017</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)		
その他	△10	<u>△8,057</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,584	<u>△94,442</u>
(省略)		

22ページ

表示方法の変更
(訂正前)
記載なし

(訂正後)
表示方法の変更

前事業年度 (自 平成22年 2月21日 至 平成23年 2月20日)	当事業年度 (自 平成23年 2月21日 至 平成24年 2月20日)
	(貸借対照表) 前期まで固定負債の「その他」に含めて表示しておりましたが「長期預り保証金」は、当期において、負債及び純資産の合計額の100分の1を超えたため、区分掲記いたしました。 なお、前期末の「長期預り保証金」は100,908千円であります。

32ページ
(訂正前)

(セグメント情報)

(省略)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2, 3, 4	財務諸表 計上額 (注) 5
	家電	ファッショ ン	計			
売上高						
外部顧客への売上高	<u>6,588,714</u>	11,646,513	<u>18,235,227</u>	<u>190,912</u>	—	18,426,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	<u>6,588,714</u>	11,646,513	<u>18,235,227</u>	<u>190,912</u>	—	18,426,140
セグメント利益	<u>△385,225</u>	<u>60,808</u>	<u>△324,417</u>	<u>79,484</u>	<u>△139,027</u>	△383,960

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり貸貸収支を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△139,027千円は、本社経費等の調整額であります。

3. セグメント利益は、財務諸表の経常利益としております。

(訂正後)

(セグメント情報)

(省略)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2, 3, 4	財務諸表 計上額 (注) 5
	家電	ファッショ ン	計			
外部顧客への売上高	<u>6,586,372</u>	11,646,513	<u>18,232,885</u>	<u>193,254</u>	—	18,426,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	<u>6,586,372</u>	11,646,513	<u>18,232,885</u>	<u>193,254</u>	—	18,426,140
セグメント利益又は損失 (△)	<u>△386,181</u>	<u>55,454</u>	<u>△330,726</u>	<u>79,051</u>	<u>△132,285</u>	△383,960

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり貸貸収支を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△132,285千円は、本社経費等の調整額であります。

3. セグメント利益は、財務諸表の経常利益としております。

以 上